

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	一人一人を尊重することに心がけているが、入居期間が長くなるにつれ、馴染みの関係ができる一方で慣れが生じ、尊厳に欠けた言葉使いになってしまうことがある。	一人一人の尊厳を大切にする。	職員のペースで話さない(早口や大きな声・馴れ馴れしくなってしまう声かけに注意する)。指示を出すような声かけではなく、敬意と感謝を込めた声かけを行う。	3ヶ月
2	35 (13)	年2回避難訓練を行っているが、地域の方の参加の呼びかけができていない。	避難訓練に参加を呼びかけ、いざという時の災害時に、理解と協力が求められるようにする。	まずは、運営推進会議の委員の方に協力を求め、参加していただけるようにする。その上で、地域との連携につなげていく。	6ヶ月
3	48	ADLの低下や認知症の進行に伴い、今までできていたことができなくなっており、家事などもできないことが増えてきた。できない方への楽しみを十分に、見い出せていない。	身体機能が低下したり、認知症の症状が進行しても、楽しみを見い出すことができる。	活動としては何もできなくても、一緒に同じ時間・空間で過ごすことで、気持ちを穏やかに過ごしていただくことにつなげる。言葉をうまく出せない方にも、その日の出来事や季節感を感じてもらえるような話などの話題を話しかけ、同じ時間を楽しんでいただくよう	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。